

1. 3つの港と水産・観光資源を生かしたまちづくり

＜資料について＞

※色付きの施策は推進会議委員提案事業、色なしは市実施予定事業となります。
 ※ここに掲げた施策は、あくまで議論のたたき台として例示するものであり、現段階で実施を決定したものではありません。

(1) 基本目標

雇用創出数：5年間で〇〇人
 就業者数：5年間で〇〇人

(2) 講ずべき施策に関する基本的方向

○本市の有する「境港（さかいこう）」、特定第三種漁港「境漁港」、国際空港「米子鬼太郎空港」という重要な社会基盤と水産資源・観光資源を生かしたまちづくりを進め、本市の魅力をもっと高めることにより、「ひと」「もの」の交流を一層促進し、観光の振興、産業の活性化を図り、雇用の拡大、定住促進を実現する。

(3) 具体的な施策

		具 体 的 な 施 策
産業振興・雇用創出	国内・外への市場拡大	境港産クロマグロの知名度向上、販路拡大を図るため、クロマグロの付加価値向上に対する取組みへの支援
		地域産業の振興を図るため、圏域内外の企業を結び付けるビジネスマッチング事業、圏域企業を紹介するデータベース事業などを実施
		○境港産魚介類、農産物のブランド化とPR強化 (境港「極上松葉かに」・境港「上等白ねぎ」等)
		○水産資源のPR強化 (PRのために価値感を打ち出したグルメ品展開など) 例：格安マグロ丼(静岡県 清水港) など
		○クロマグロのPR強化 (マスコミ、鳥取県出身の石破大臣の活用など)
		○水産物等の輸出に関する総合的な支援 (輸出実務や顧客の確保の支援など)
		○地元の産・官・金が一体となった市場拡大への支援体制の整備
		○境港で水揚げ又は生産された水産物(食材、食品)を境港に寄港するクルーズ船のレストランへ提供する仕組みづくり ・継続的なプロモーション、ルート構築(ツール作成、体制づくり等) ・岸壁等での臨時境港水産市(仮称)の開設～有料試食、通販受付等
		○水産、食品加工品の展示即売とPR強化
		○魚の水揚げから加工までを見学・体験出来る施設の建設と支援
○水産業を絡めた「体験型観光ツアー」の実施 (漁体験など) ※観光地の魅力向上の施策を兼ねる		
新商品開発への支援	民間事業者等が行う、新たな水産加工品の開発や国内外へのPR活動を支援	
	○フード・プロデューサーの雇用 食品分野に関する知見・経験・人脈を有する「フード・プロデューサー」を雇用し(あるいはコンサル会社と連携して)、地域の食材を活用した新商品を開発。	
	○在境の外国人研修生を活用した輸出水産加工品の開発 (外国人観光客への試食などを併せて実施)	
	○水産物を活かした境港独自の商品開発	

		具 体 的 な 施 策
産業振興・雇用創出	新商品開発への支援	○水産加工大賞の拡大、受賞品のPR強化
		○「浜の芋太」ブランドでの郷土料理の製品化、ブランド化
		○地域の特産品「伯州綿」を利用した、新商品開発への支援 (開発経費の助成など)
		○間伐材の有効利用、耐久性向上を図る保存技術の取組への支援
		○産業支援センターの活用PRの強化
	農業・水産業の担い手育成・確保	沿岸漁業や沖合漁業等への新規就業希望者に対して、研修等を実施する漁協や企業等を支援
		新規就農者の就農初期の費用負担を軽減し、経営安定を図るため、農地賃借料や機械設備の導入費の助成及び交付金の交付
		○若手生産者の生活費下支え制度の創設
		○農業、漁業に就労が見込まれる学生に対しての奨学金制度などの助成の充実
		○漁業・農業の体験型施設の充実と就労時の設備整備、販路拡大に係る費用の助成
		○研修制度の整備 独立するまでのスキルアップを保証する研修制度を整備。水産会社や大規模農家などの元で(給与もしくは補助金を受けながら)実務に関するノウハウを学ぶ。就業支援住宅の整備とあわせてPRし、県外からの移住も促進する。
		○地元企業就職者への都市部企業視察、他社との都市部での合同研修制度の創設(地元就労者の都会志向を満たす)
		○若者の採用支援、人材育成のための県外派遣、研修の実施
		○耕作放棄地への税金の賦課 納税できないようであれば、市への無償貸与としてねぎ栽培等を行い、耕作放棄地対策とする。
		○空地所有者に対しての有効活用に向けた事業提案
		○地域の特産品「伯州綿」を学ぶ授業の実施 (市内の小中学生を対象に伯州綿の歴史、生態などを学ぶ授業を実施)
		○修学旅行の誘致 (都市部の小中学生に対する市場見学、せり体験などを実施) ※観光地の魅力向上の施策を兼ねる
		○水産業を担う人材育成のための大学の設立
		○観光船、旅客船の保有、活用 平常時は観光遊覧等に利用、非常時は住民避難等に活用できる船舶を保有
		○農業生産法人の活用、6次産業化の推進

		具 体 的 な 施 策
産業振興・雇用創出	企業の誘致	企業誘致推進のためのフェアの参加、企業訪問の実施及び「企業誘致・物産観光推進委員会」の開催
		雇用の拡大を図るため、操業時の投下固定資産に係る固定資産税相当額を分割して助成
		企業立地と雇用の拡大を図るため、操業時の投下固定資産総額、新規雇用人数に応じて、企業立地補助金、固定資産税減免、雇用奨励金による支援
		新設、増設し雇用を拡大した企業を、鳥取県西部地域（9市町村）で支援
		鳥取県西部地域への企業立地を図るため、9市町村連携して企業立地フェアに出展
		○企業立地フェアへの参加、企業訪問の実施。地元水産業と競合しない水産企業（宮城、福島県の水産企業）の誘致
		○地域の特性（水産業）に関連した業種に的を絞って誘致活動及び税制優遇などの支援策の実施
		○特定事業への思い切った優遇措置 （中韓コンテナ航路、DBS航路の活用など）
		○若い女性の雇用が多い（就労のニーズが高い）企業の積極的誘致活動の実施、若い女性の雇用に応じた助成の実施
		○竹内南地区貨客船ターミナル（平成31年度完成予定）周辺への流通センター誘致（YPSの拡充移転など） ※米子鬼太郎空港・DBSクルーズフェリーの利用促進策を兼ねる
		○大規模物流配送センター施設の誘致（誘致のための優遇施策の実施） 竹内南地区貨客船ターミナル整備による物流の増加に対応し、雇用拡大等を図る。
		○鳥取県西部市町村、中海圏域連携での企業誘致活動の実施
		○県内外への企業誘致の積極的な働きかけ
		○太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入支援
		○都市計画の調整区域の農地用区域（文化ホール周辺）への商業施設誘致の実施
	起業・創業の拡大	創業初期の費用負担を軽減して、経営安定を図るため、設備投資費用を助成
		小規模事業者を育てていくため、日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金及び生活衛生関係営業経営改善資金の利子を補助
		国産材、県産材の消費量増加のための施設整備を支援
		○境港市独自の地域ファンドの設立
		○水産加工のインフラ整備を支援する官民連携（県、市、金融機関）の特定目的会社（SPC）、官民ファンドの設立
○創業者への資金調達支援（無担保・無利子）		

		具 体 的 な 施 策
産業振興・雇用創出	起業・創業の拡大	○企業・創業コンサル制度の整備 事業展開の可能性の判断、資金調達(補助金活用)のアドバイス等も含めて気軽に相談できる窓口の整備
		○金融機関等の民間企業からの情報収集、市施策への反映を行う体制の整備 (民間企業との連携強化)
		○官民連携でのビジネスマッチング、商談会の実施(又は連携しての事業拡大)
		○水木しげるロード内の空き店舗仲介制度の導入 (学生によるチャレンジショップへの補助など) 例) 鳥取大学の医学部学生による健康ショップ、学習塾
		○山陰地域限定特例通訳案内士の恒常的な養成機関及び人材バンクの整備 (県との共同事業) ※外国人観光客の誘客、移住促進、情報発信、U I J ターンの施策を兼ねる
		○外国人観光客向けのガイド付き体験プログラムの開発及び販売の促進 ※観光地魅力向上、外国人観光客の誘客、移住促進、情報発信の施策を兼ねる
		○水産加工・食品加工の集積地の建設
		○地域の特産品「伯州綿」を活用した起業者への支援
		○商工会議所「創業塾」の積極活用、PR強化

		具 体 的 な 施 策
観光 の 振 興	観光地の魅力向上	日本海側拠点港である境漁港とそこで水揚げされる豊富で新鮮な魚介類を地域・観光資源の一つととらえ、お魚ガイドによる境漁港見学ツアー及び各種魚食普及活動、水産業PRの担い手育成等を行う団体への支援
		車道の1車線化、歩道拡張、妖怪ブロンズ像の再配置などを行う、水木しげるロードの大規模リニューアル事業を実施
		「みなと祭」及び前夜祭である「境港妖怪ジャズフェスティバル」の開催を支援
		「水木しげるロード」の新たな楽しみ方を提供し魅力向上を図るため、スマートフォン端末を活用した水木しげるロードでのデジタルスタンプラリーを実施できる専用アプリなどの運用
		観光客の満足度の向上を図るため、水木しげる作品のキャラクターの着ぐるみによるおもてなしを実施
		本市での滞在時間の延長を図るため、夏休み期間中の土日などに境港駅と夢みなとタワーを結ぶ、無料シャトルバスの運行
		○ホテル開業に合わせ、夜間のにぎわい創出施策の実施 (水木しげる記念館の夜間利用、屋台村の開設など)
		○夜間のにぎわい創出など観光客の滞在時間延長の取組への支援
		○水木しげるロードブロンズ像ライトアップ、観光地価格を排した、地元へ愛される飲食店への支援実施
		○水木しげるロードリニューアルに併せ、休憩、喫茶、食事のできる場所の開設、妖怪と妖精をコラボレーションした花園やメリーゴーランドなどのアミューズメント施設の開設
		○水木しげるロードへの集客力の高い店舗(有名店など)の誘致
		○水木しげるロード、おさかなロード、海とくらしの史料館、魚直売センターへの導線充実
		○海とくらしの史料館リニューアル
		○台場公園の整備 (さくらまつりの照明LED化など)
		○市場観光の充実 (カニ、マグロ水揚げ日本一のPR、境港水産まつり、マグロ感謝祭、カニ感謝祭などのイベント充実など)
		○ブルーツーリズム(海を絡めた事業)の構築 地引網体験、漁体験、マリンスポーツ、観光遊覧などの整備
		○ファミリーフィッシングボート (家族で楽しめる漁船での釣り体験、アドベンチャー、アミューズメント、グルメができる観光メニューとして売り出す)
		○日本海、美保湾を遊覧する観光施策の実施
○夢みなとタワー周辺地区の整備 (夢みなと公園リニューアル、夢みなと公園整備)		
○夢みなとタワー周辺地区の魅力向上への取組の実施 (公共マリナー(マリンスポーツ)を絡めた周辺地区の振興)		
○繁忙期のシャトルバス運行 (水木しげるロード～夢みなとタワー間)		

		具 体 的 な 施 策
	観光地の魅力向上	○水木しげるロードファンクラブ設立 買い物・宿泊の割引や各種イベントへの優待などの特典を設ける。メールマガジンなどでの会員への定期的な情報提供。新規イベントの実施。
		○映画・CM等のロケ地情報の発信 「ベタ踏み坂」のように映画・CM等のロケ地としてインパクトのある景観情報を収集し、(広告会社などへ)紹介する。
		○ジャズフェスティバルの拡大 ジャズフェスティバル本番開催の前後に、市内各店でジャズセッションを行う 本番会場付近には大人の遊園地を特設(アメリカ映画に出てくる移動遊園地をイメージ)
		○道路整備 (竹内南地区～江島大橋間の整備、幸神町～中央線、内浜線の4車線化)
観光の振興	外国人観光客の誘客	近年、寄港回数が増加傾向にある大型クルーズ客船や国際チャーター便等で訪れる外国人観光客の更なる増加を図るため、「おもてなし」向上の取り組みを総合的かつ先進的に取り組むなど、受け入れ対策を実施
		○外国人観光客受け入れ体制の整備 クレジットカード、プリペイドカード使用店舗拡大、通貨両替所の設置、免税店の拡大、公衆無線LANサービス整備、通訳の充実、チラシ、パンフ、ガイドブック、看板の多言語化など
		○外国人観光客の無料送迎、無料ガイドによる水木しげるロードへの誘客 (おもてなし充実により、短期的な集客だけでなく、口コミ効果を図る)
		○クルーズ船寄港時の境港独自のお出迎え、ふるまいなどのおもてなしの実施
		○水木しげるロード観光案内の多言語対応
		○外国人観光客向けの境港のお土産品の開発、販売コーナーの開設
		○外国語版「妖怪ガイドブック(スタンプラリー)」作成 (英、中、韓など数種類。クルーズ船の船内、寄港時のおもてなしなどで配布する)
		○マリンレジャー、フィッシング、サイクリング、登山など地域の自然を活かした観光拠点の周辺圏域一体となった整備、PR強化。
○YouTubeを活用した情報発信 観光情報や地域の文化を紹介する公式ビデオを作成し、YouTubeを介して海外に向けて発信する。		
米子鬼太郎空港・DBSクルーズフェリーの利用促進		米子ソウル便利用促進委員会と連携して、グループ旅行支援など様々な利用者への支援
		本市が目指す環日本海オアシス都市の実現への足がかりとなり、地域経済へも大きな波及効果が期待される環日本海定期貨客船航路の安定運航を促すため、中海・宍道湖・大山圏域が一体となって支援
		○山陰観光のハブ(玄関口)としてのコンシェルジュ機能の確立 山陰総合観光案内所の開設=ワンストップサービス 1、多言語対応 2、目的別周遊コース紹介 3、移動手段レンタル サービス 4、マーケティング機能 5、地域間連携で商品(コース)の造成 ※外国人観光客の誘客の施策を兼ねる
		○海外へのPR強化、国際交流の拠点地域としての整備促進
		○海外の旅行会社との提携 韓国・ロシアの旅行会社と提携し、ニーズにもとづいたツアー商品を開発。

		具 体 的 な 施 策
観光の振興	米子鬼太郎空港・DBSクルーズフェリーの利用促進	○韓国からの修学旅行の誘致 (市場体験、地引網体験、せり体験など境港市ならではの体験メニューを提供)
		○DBS出発、アジアナ航空帰着の周遊型旅行商品の売り込み強化 (一般客だけでなく、中高生の修学旅行、青少年向け研修旅行での活用など)
		○沖縄、北海道への季節便運航(航空便)
		○隠岐空港との連携
		○愛称空港サミットの開催
		○米軍の誘致 (辺野古の部分代替地としての誘致、オスプレイ配備誘致など)
	みなとを核とした官民連携による賑わいづくり	竹内南地区に国際貨客船ターミナルを整備(国土交通省直轄事業)
		境漁港の高度衛生管理型市場に向けた整備(県実施事業)
		竹内南地区貨客船ターミナルの事業計画に合わせて、県勢の振興とターミナル周辺の賑わいづくりを図るため、鳥取県と協働で水族館の開設を検討
		○見るだけでなく、体験、研究できる「体験型水族館」の開設
		○コンセプトが明確かつ持続可能な水族館の検討 (「深海」、「くらげ」などの明確なコンセプト、プロジェクトチームによる早期かつ十分な検討が必要)
		○竹内南地区貨客船ターミナルの事業計画に合わせて、くつろぎの休憩スペース、海の釣り堀公園の開設
		○企業主体での観光誘客施設整備を行う起業への助成制度の創出
		○山陰いいものマルシェの境港市版「さかいミニマルシェ」の定期開催
		○中海宍道湖圏域リレーウォーク 境港、米子、松江、出雲、安来の各市でウォーキングイベントを開催。リレー形式にし、各回でスタンプを押印。全イベント参加者には特典を設ける。
		○オリンピックを契機とした海洋スポーツ振興のための施設整備
		○軍艦寄港の誘致

		具 体 的 な 施 策
移住・U I Jターンの	移住促進、情報発信	伯州綿の栽培や商品開発等を行うため、「地域おこし協力隊員」制度を活用して、定住を促進
		○伯州綿の栽培から製品化までの見学施設の開設
		○6次産業化に取り組む民間事業者、団体への支援の拡充
		○就業支援住宅の整備 農業・水産業の担い手確保と連動して、地域外からの移住者に対するの住居提供(一定期間無償など)
		○夏休みなどを利用した短期の就労体験(水産、観光、飲食など)実施 (県内外の大学生(短大生)への参加呼びかけ)
		○夏休みなどを利用した水産、農業の親子体験の実施
		○空き家、夕日ヶ丘団地を活用した移住者への住環境整備
		○夕日ヶ丘地区や空き家への県外移住者に対するの農・水産物の提供(食べきれない野菜、大漁時の水産物など)、耕作放棄地の無償貸与制度の創設
		○自然災害の少ない「安心・安全なまち」をスローガンにした移住・定住の情報発信
		○美保基地機能強化の誘致(防衛省への働きかけ) (危機管理体制の強化、雇用、定住の拡大)
		○海上自衛隊等の誘致(防衛省への働きかけ)
		○中海穴道湖圏域としての情報発信 (説明会開催、インターネット等を利用したPR)
		○水木しげるロードに次ぐ観光地の振興策の実施(江島大橋など)、新たな観光資源としての名所、旧跡の掘り起し
U I Jターンの	U I Jターンの	新卒大学生等を対象として、地元就職を支援するため、松江市、米子市、安来市と共同でインターネットの就職情報サイト「中海圏域就職ナビ」を運営
		○就活に精通した専門家の登用及び移住者への住環境の整備
		○都市部で活躍した移住希望の中高年者と地元企業とのマッチング機会の創出
		○奨学金制度の整備 県外の大学等へ進学した学生の地元帰還就職を促進するため、返還を(一部)免除する優遇措置などを設けた奨学金制度の整備
		○県外者が県内の学校卒業後に市内企業に就職した場合の補助金制度の創設
		○子どもを対象にした郷土愛創出事業の実施 (地元への愛着を醸成し、将来のUターンにつなげていく)
まちづくり	まちづくり	○海産物、加工食品等を販売、飲食店も併設された大型の海産物市場の整備
		○大漁時(大漁旗掲出時)に未就学児のいる家庭への魚の無料配布
		○荒廃農地などに花を植えて「花のまち境港市」の推進
		○特区制度を活用した「金融のまち境港市」の推進

2. 子育てするなら境港

(1) 基本目標

出生数：5年間で〇〇人
 合計特殊出生率：5年後に〇〇
 婚姻数：5年間で〇〇件

<資料について>

※色付きの施策は推進会議委員提案事業、色なしは市実施予定事業となります。
 ※ここに掲げた施策は、あくまで議論のたたき台として例示するものであり、現段階で実施を決定したものではありません。

(2) 講ずべき施策に関する基本的方向

○ これまでも限られた財源の中、「子育てするなら境港市」を標榜して少子化対策に懸命に取り組んできたところであり、より一層、子どもを産み・育てやすい環境の整備に努め、少子化に歯止めをかけることを目指す。

(3) 具体的な施策

		具 体 的 な 施 策
少 子 化 対 策 ・ 子 育 て 支 援	出 会 い の 場 の 創 出	未婚、晩婚化の解消を図るため、中海・宍道湖・大山圏域（5市6町1村）で独身の男女を対象に、セミナー&交流会を実施
		○結婚に向けた仲人業の実施
		○結婚を仲介する「お節介おばさん」制度の導入
		○婚活コーディネーター（ボランティア）の制度創設
		○婚活事業実施への支援 船を利用したりなど海を絡めた内容の「海辺のまちの婚活事業」や都会から女性を集め、地元男性との出会いの場を提供する事業などへの支援
		○都市部女性を招いての出会いの場創出事業の開催
		○中海宍道湖圏域連携しての取組実施 (情報共有、情報発信、「中海宍道湖 妖怪ミステリーツアー」などの合同イベント開催)
	安 心 な 妊 娠 出 産 環 境	特定不妊治療と人工授精に要する経費を助成
		○妊娠、出産、子育てまで切れ目なく、相談、支援を行う子育て拠点の設置
		○出産、子育てについての情報発信 (マタニティー教室、プレパパ・プレママ教室の開催)
		○市内病院での産科及び産科専門医の常設 (市内での出産環境の整備)
	子 育 て 支 援 の 充 実	保育料の軽減
		児童の健全な育成を促し、保育士の就労環境の改善を図るため、私立保育園の保育士を増員するための支援
		保育環境の改善のため、こども支援センターの設備整備等を実施
		子育て世帯の経済的負担を軽減するため、私立幼稚園に在園する同一世帯の第3子以降の園児にかかる保育料を助成
		病気又はその回復期にあり、集団保育が困難な児童を、一時的に専用施設での保育の実施
		地元の食材や人材を活用し、食育の重要性を広く市民へ発進するため、講演会や交流会を開催
		保育園と地域との交流を促進するため、地域住民を講師とする講演会を開催

少子化対策・子育て支援	子育て支援の充実	配偶者のない父または母が養育している児童の小・中学校入学に際し、支度金を助成
		親子関係の確立や地域の中での子育てしやすい環境づくりを目的とした学習会を開催
		赤ちゃん親子が小学校へ出向き参加者相互の関わり、体験を通し、命の大切さや人間関係を構築するコミュニケーションを学ぶ機会の創出
		6ヶ月児健診、1才6ヶ月児健診時に絵本を贈り、絵本を介した親子のふれあいを促進
		胎児期からの読み聞かせの大切さを伝えるため、母子健康手帳交付時に絵本を贈呈
		保護者が就労等により昼間家にいない小学校に就学する児童を対象に、遊びや生活の場を提供する児童クラブを開設及び運営費の補助
		○病気等による不就労期間のサポート強化 (近所で里親登録し、子どもを預けられる体制整備など)
		○子育ての先輩である高齢者を活用した子育て支援策の実施
		○高齢者を活用した保育サービス付住宅の整備
		○各種活動支援ボランティア組織の結成 児童クラブ、スポーツ少年団の運営、子供会の運営などを人的に支援するボランティア組織を結成、保護者負担の軽減を図る。
		○児童クラブの拡充及び時間延長 (小学校4年生以上が預けられる体制の充実)
		○第1子、2子への保育負担軽減策の強化
		○市内公園の充実、整備不良遊具の整備 (市内公園の整備不良遊具が多く、遊具で遊べず、子ども・親たちが公園に集まらなくなっている。)
		○海の幼稚園開催 子育て中の親子を対象にした「境港を楽しく知る」体験教室を開催。教室は浜辺、魚、公園、船など境港のフィールドを活用し、境港での子育てで楽しみを実感することを目的にする。
		○土曜日特別授業の実施 ・高齢者による境港の歴史や遊びを学ぶ授業 ・マリンスポーツを絡めた体験型授業 など
		○地元高齢者による土曜日授業の実施 (境港の歴史や遊びを学ぶ)
		○保育園、幼稚園の教育内容の統一性の確保及び小学校、保育園、幼稚園の連携体制の構築 (保育園、幼稚園は所管省庁も違うが、教育内容の統一性の確保が必要)
		○公立幼稚園の充実 収入にかかわらず、低費用で入園させられる公立幼稚園の整備
	○24時間保育の実施 (母子、父子家庭の就労支援)	
	ワークライフバランスの推進	女性活躍の推進、ワークライフバランスの啓発・支援
○育休制度、時短勤務制度を導入する企業の負担を軽減する助成制度の創設		
○子育て又は介護負担軽減のための施策の充実		